

授業概要

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の示す領域『表現』の中の、音楽的な表現についての理論的な理解と、その指導法の修得を目標とする。乳幼児の感性を育み、多様な音楽表現を引き出させるためには、保育者自らの音楽表現力が幅広く豊かであることが望ましい。人間と音楽、幼児と音楽の関係を脳科学の研究などを参考にして理論的に考察しながら、学生自らによる模擬授業や授業内実技テストを通して、保育者として必要な豊かな感性と音楽表現実践力を高める指導を行う。

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」と領域「表現」の概説、リズム遊び他
第 2 回	器楽表現（鳴らす）①、導入 身体を使ってのリズムあそび・ボディパーカッション
第 3 回	器楽表現（鳴らす）②、楽器の基本奏法（和太鼓や篠笛も含む）
第 4 回	器楽表現（鳴らす）③、合奏の演習（基本リズム・模倣・カノン・ロンド・編曲法）
第 5 回	器楽表現（鳴らす）④、合奏の演習（演奏会形式による発表会）
第 6 回	歌唱表現（歌う）①、導入 発声法、言葉によるあそび・ボイスアンサンブル
第 7 回	歌唱表現（歌う）②、歌唱指導法（具象物の重要性・パネルシアターなど）
第 8 回	歌唱表現（歌う）③、歌唱指導法（学生による模擬授業①）
第 9 回	歌唱表現（歌う）④、歌唱指導法（学生による模擬授業②・まとめ）
第10回	音と動きの表現（動く）①、音と身体の動きの自由な表現→模倣・ダンスの創作
第11回	音と動きの表現（動く）②、音と筆記具の自由な表現→絵描き歌
第12回	総合的な音楽表現①、手遊び曲の演習①
第13回	総合的な音楽表現②、手遊び曲の演習②
第14回	創作お囃子①（わらべうたの習得）（情報機器及び教材の活用を含む）
第15回	創作お囃子②（わらべうたをお囃子風に創作）
第16回	実技試験 アカペラ 100 曲と創作お囃子の発表

到達目標

- ・子どもにとって、いかに音楽が重要であることを理論的に学ぶ。
- ・音楽表現内容の歌う（アカペラ 100 曲）、鳴らす（楽器奏法 30 種）、動く（ダンス創作等）の実践能力を習得する。
- ・手遊び曲の習得と編曲法、お囃子の創作を行う。
- ・子どもの音楽指導法を立案、指導、評価が出来る能力をつける。

履修上の注意

子どもは保育者の表現を手本として学ぶため、実技能力を高め、自信をもって楽しそうに行うことが第一である。勇気を出して、堂々と表現すること。また、毎時間異なった内容を行うため、欠席しないよう体調管理に留意し、幅広い音楽表現を体験できるよう心がけること。

予習復習

音楽能力は繰り返し練習してこそ実力が向上するものです。各自、予復習を十分行って、授業に臨むこと。また、グループ発表では事前の練習が多く必要となるため、早めに協力して練習場所の確保等行うこと。

評価方法

実技テスト 50%、理論課題 30%、受講態度 20%で評価する。

テキスト

- ・教科書名：アイディアいっぱい保育者のための音楽表現
- ・著者名：金指初恵
- ・出版社名：大学図書出版

参考書 ①「小学校学習指導要領＜平成 29 年告示＞」文科省、②平成 29 年告示 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針 ほか